

60XE シリーズ
ソケット Socket 370 プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

ソケット 370 プロセッサマザーボード
REV. 1.1 第1版
R-11-01-001123

機能のまとめ

フォームファクタ	<ul style="list-style-type: none"> 30.6 cm x 21.9 cm ATX サイズフォームファクタ、4層 PCB.
マザーボード	<ul style="list-style-type: none"> 60XE series には60XE、60XE-1が組み込まれています
CPU	<ul style="list-style-type: none"> ソケット 370 プロセッサ Intel Pentium® III 100/133MHz FSB、FC-PGA Intel Celeron™ 66MHz FSB、FC-PGA VIA Cyrix III® 100 MHz FSB、CPGA (お使いのCPUが量産バージョンであるかどうか確認してください) CPU内にL2キャッシュ L2 cache in CPU (CPUによって異なる)
チップセット	<ul style="list-style-type: none"> Intel 82815EP HOST / AGP / SDRAM コントローラ 82801BA I/O コントローラハブ (ICH2)
クロックジェネレータ	<ul style="list-style-type: none"> Realtek RTM560-25 66/100/133 MHz システムバス速度
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 4 168-ピン DIMM ソケット (DIMM 4 はオプションです) PC-100 / PC-133 SDRAM をサポート 最大512MBまでサポート 3.3V SDRAM DIMMのみをサポート
I/O コントロール	<ul style="list-style-type: none"> IT8712
スロット	<ul style="list-style-type: none"> 1つのAGP スロットが4X モード & AGP 2.0 準拠をサポート 6つのPCI スロットが 33MHz & PCI 2.2 準拠をサポート 1 CNR (通信とネットワークライザ) スロット
オンボードIDE	<ul style="list-style-type: none"> PIO モード 3、4、UDMA33/ATA66/ATA100 IDE & ATAPI CD-ROMをサポート 最大4 ATAPI デバイスに対する2 IDE バスマスタ (UDMA 33/ATA 66/ATA100) IDE ポート

続く

オンボード周辺装置	<ul style="list-style-type: none"> • 1つのフロッピーポートが360K、720K、1.2M、1.44M および2.88M バイトの2 FDD をサポート • 1つのパラレルポートがSPP/EPP/ECP モードをサポート • 2つのシリアルポート (COM A & COM B) • 4つのUSB ポート • IR/CIR 用の1つのIrDA コネクタ
ハードウェアモニタ	<ul style="list-style-type: none"> • CPU/電源装置/システムファン解像度の検出 • CPU 温度の検出 (VIA Cyrix® III CPUの場合はオプション) • システム電圧の検出 • CPU 過熱によるシャットダウンの検出
オンボードサウンド	<ul style="list-style-type: none"> • Creative CT5880 サウンド(オプション) • AC'97 CODEC • ラインイン/ラインアウト/Mic In/AUX In/CD In/TEL/ SPDIF (オプション)/ゲームポート/4スピーカー(オプション)
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> • ライセンスを受けたAWARD BIOS、4M ビットフラッシュROM • Dual BIOSをサポート(オプション)
PS/2 コンダクタ	<ul style="list-style-type: none"> • PS/2 キーボードインターフェイスおよびPS/2 マウスインターフェイス
追加機能	<ul style="list-style-type: none"> • ウェークオンLAN(WOL)をサポート • STR (RAMへのサスペンド) (オプション) • 内部/外部モデム呼び起こしをサポート • 3つのファン電源コネクタを内蔵 • キーボードの過電流を保護するポリエステルヒューズ • @BIOS™ および EasyTuneIII™をサポート

CPU 速度のセットアップ

システムバス速度は55~153MHzの間で選択可能です。ユーザーはDIP スイッチ SW1によってシステムバス速度を選択できます。

SW1:

0: オン、X: オフ

CPU	SDRAM	1	2	3	4	5	6
自動	自動	X	X	X	X	X	X
55.00	82.50	0	0	0	X	0	X
60.00	90.00	0	0	0	X	0	0
66.80	100.20	0	0	0	X	X	X
68.33	102.50	0	0	0	X	X	0
70.00	105.00	0	0	0	0	0	X
72.00	108.00	0	0	0	0	0	0
75.00	112.50	0	0	0	0	X	X
77.00	115.50	0	0	0	0	X	0
83.00	83.00	0	0	X	X	0	X
90.00	90.00	0	0	X	X	0	0
100.30	100.30	0	0	X	X	X	X
103.00	103.00	0	0	X	X	X	0
112.50	112.50	0	0	X	0	0	X
115.00	115.00	0	0	X	0	0	0
120.00	120.00	0	0	X	0	X	X
125.00	125.00	0	0	X	0	X	0
128.00	128.00	0	X	0	X	0	X
130.00	130.00	0	X	0	X	0	0
133.70	133.70	0	X	0	X	X	X
137.00	137.00	0	X	0	X	X	0
140.00	140.00	0	X	0	0	0	X
145.00	145.00	0	X	0	0	0	0
150.00	150.00	0	X	0	0	X	X
153.00	153.00	0	X	0	0	X	0

CPU	SDRAM	1	2	3	4	5	6
125.00	93.75	O	X	X	X	O	X
130.00	97.50	O	X	X	X	O	O
133.70	100.28	O	X	X	X	X	X
137.00	102.75	O	X	X	X	X	O
140.00	105.00	O	X	X	O	O	X
145.00	108.75	O	X	X	O	O	O
150.00	112.50	O	X	X	O	X	X
153.33	115.00	O	X	X	O	X	O

自動構成:

CPU	SDRAM
66	100
100	100
▶ 133	133

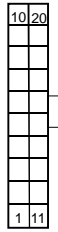
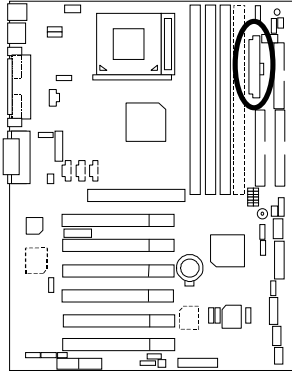
次の設定は100MHz システムメモリで133MHz FSB CPU を使用していることを前提とします。

CPU	SDRAM	1	2	3	4	5	6
133.70	100.28	O	X	X	X	X	X

- *注: お使いのプロセッサの仕様に従ってCPUのホスト周波数を設定してください。CPUの仕様を超えるシステムバス周波数を設定することはお勧めしませんが、それはこういった特定のバス周波数がCPU、チップセット、およびほとんどの周辺装置用の標準仕様ではないからです。お使いのシステムがこれらのバス周波数のもとで適切に実行できるかは、CPU、チップセット、SDRAM、カードなどのハードウェア構成によります。

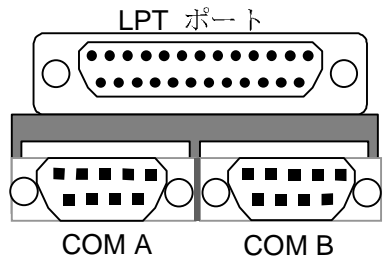
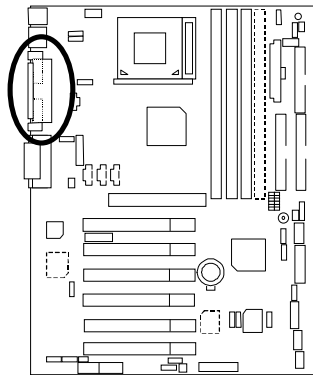
コネクタ

ATX 電源

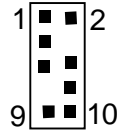
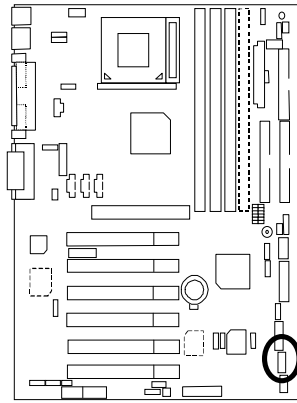


ピン番号	定義
3,5,7,13,15-17	GND
1,2,11	3.3V
4,6,19,20	VCC
10	+12V
12	-12V
18	-5V
8	電源良好
9	5V SB スタンバイ +5V
14	PS-ON(ソフトによる オン/オフ)

COM A / COM B / LPT ポート



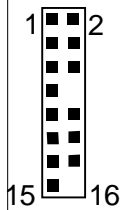
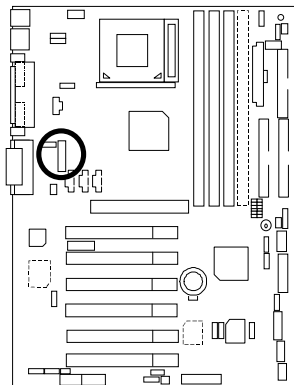
CN9: 前面USB ポート



ピン番号	定義
1	+5V
2	GND
3	USB D2-
4	NC
5	USB D2+
6	USB D3+
7	NC
8	USB D3-
9	GND
10	+5V

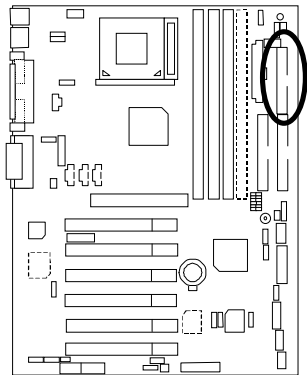
CN13: 前面オーディオ(オプション)

*前面オーディオコネクタを使う必要がない場合、ジャンパを11-12 クローズおよび13-14 クローズに設定してください。

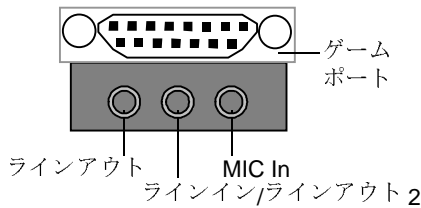
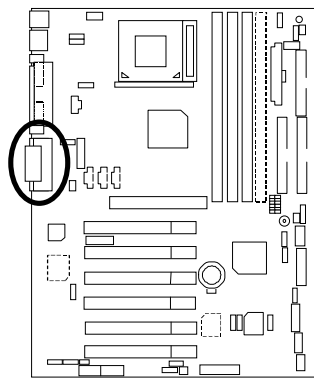


ピン番号	定義
1	内部スピーカー(右)
2	内部スピーカー(?)
3,4,5,6, 10,15	GND
7	+12V
8,16	NC
9	MIC
11	前面オーディオ(?)
13	前面オーディオ(左)
12	背面オーディオ(?)
14	背面オーディオ(左)

フロッピーポート



ゲーム & オーディオポート

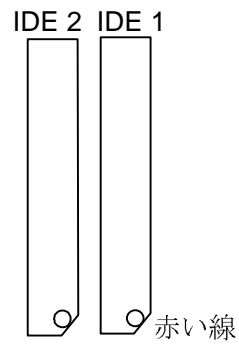
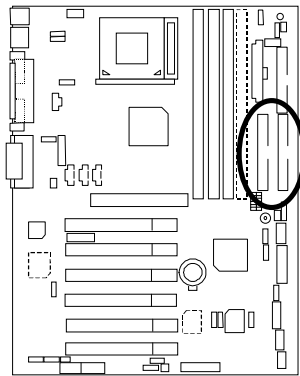


ラインアウト 1: ラインアウトまたは SPDIF (SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、または圧縮された AC3 データを外部の Dolby デジタルデコーダに提供することができます)。一般に、ラインアウト 1 は、デジタル信号を出力するときには、通常のラインアウトになり、自動的に SPDIF アウトに変更されます(詳細については 52 ページをご覧ください)。

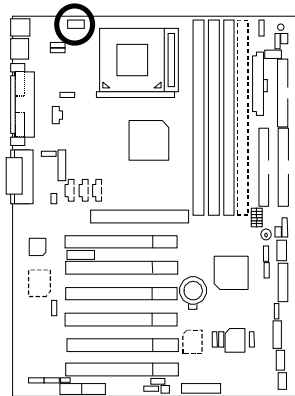
ラインイン: 一般に、ラインインは通常のラインインです。

Creative アプリケーションで「4 スピーカー」を選択するとき(詳細については 50 ページをご覧ください)、ラインインはラインアウト 2 に変更され、その後 2 対のステレオスピーカーをラインアウト 1 とラインインに同時につなぐことができます。

IDE1 (1次)、IDE2 (2次) ポート

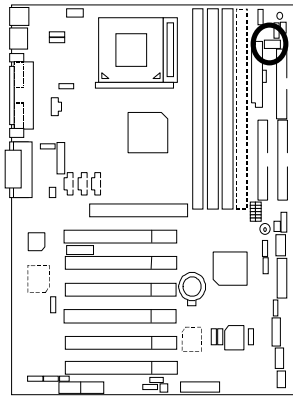


J1: CPU ファン



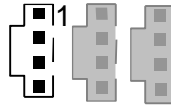
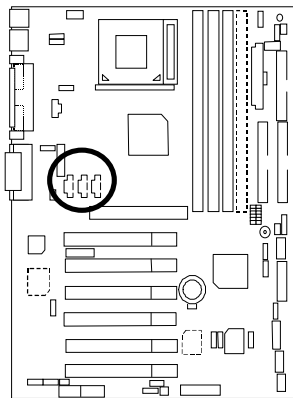
ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	SENSE

J2: 電源ファン



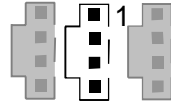
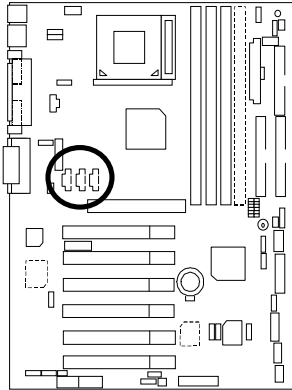
ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	SENSE

J5: CD オーディオラインイン



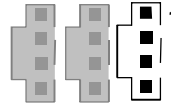
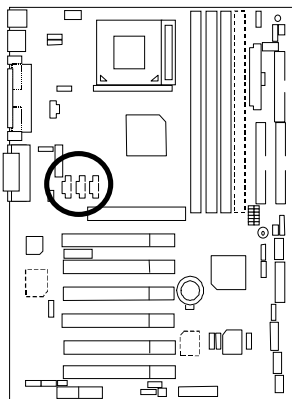
ピン番号	定義
1	CD-L
2	GND
3	GND
4	CD-R

J6: AUX_IN



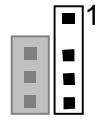
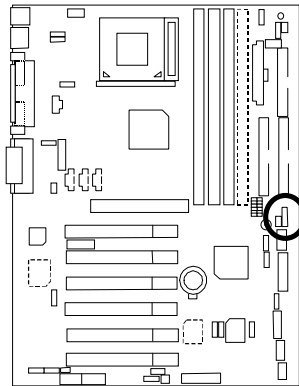
ピン番号	定義
1	AUX-L
2	GND
3	GND
4	AUX-R

J7: TEL: コネクタは内部音声コネクタを備えたモデム用です



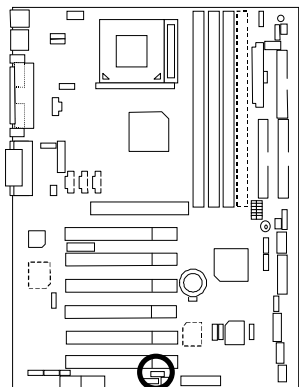
ピン番号	定義
1	信号-イン
2	GND
3	GND
4	信号-アウト

J10: 特別 SMBUS



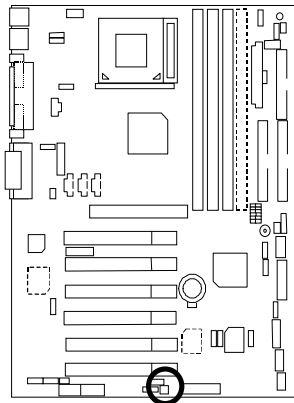
ピン番号.	定義
1	SMB CLK
2	NC
3	GND
4	SMB DATA
5	+5V

J12: ウェークオンLAN



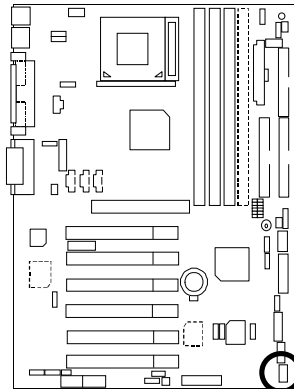
ピン番号	定義
1	+5V SB
2	GND
3	信号

J13: リング電源オン(内部モデムカード呼び起こし)



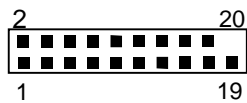
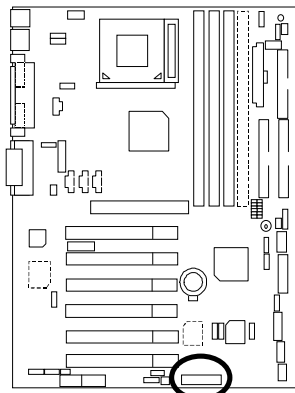
ピン番号	定義
1	信号
2	GND

J14: システムファン



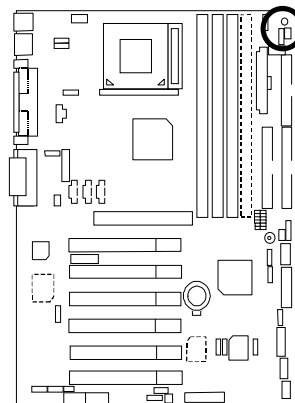
ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	SENSE

J15: IA ポート(オプション)

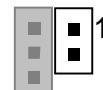


ピン番号	定義
1	ギガバイト Web サイト
2	インターネット
3	財務
4	娯楽
5	ショッピング
6	検索
7	人
8	電子メール
9	再生一時停止
10	前へ
11	巻き戻し
12	取り出し
13	停止
14	ミュート
15	Mic 音量を上げる
16	Mic 音量を下げる
17	スピーカーの音量を上げる
18	スピーカーの音量を下げる
19	接地
20	NC

JP7: STR LED コネクタ & LED1: DIMM LED

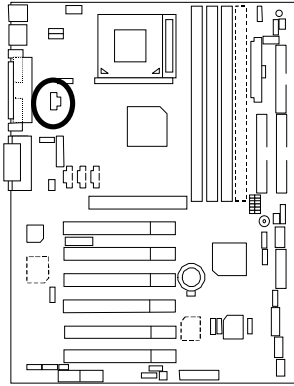


DIMM LED



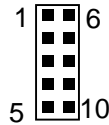
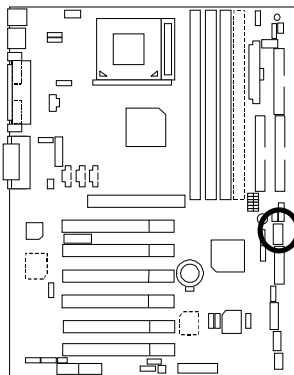
STR LED コネクタ外部

JP9: SPDIF(SPDIF 出力は、デジタルオーディオを外部スピーカーに、または圧縮されたAC3データを外部Dolby デジタルデコーダに提供することができます。)[オプション]



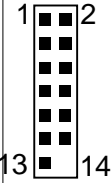
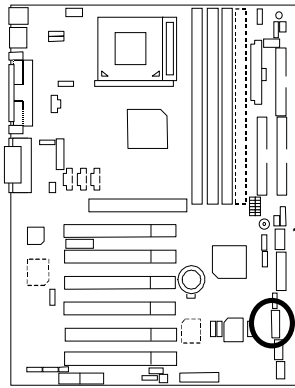
ピン番号	定義
1	VCC
2	SPDIF アウト
3	GND

JP13: IR/CIR



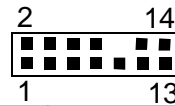
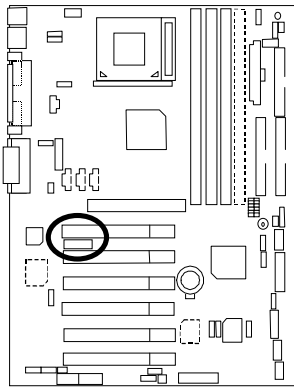
ピン番号	定義
1	VCC
2	NC
3	IRRX
4	GND
5	IRTX
6	NC
7	CIRRX
8	VCC
9	CIRTX
10	NC

JP27: SCR: スマートカードリーダー



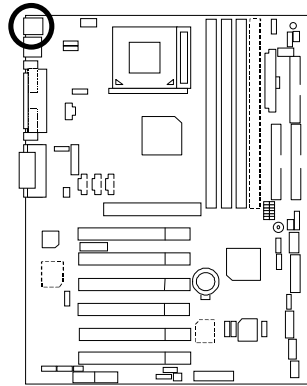
ピン番号	定義
1	VCC
2	NC
3	NC
4	NC
5	SCRFET
6	SCRRST
7	SCRCLK
8	NC
9	NC
10	SCRIO
11	GND
12	SCRPRES
13	NC
14	NC

JP28: 6チャンネルのオーディオカードコネクタ用 (オプション)

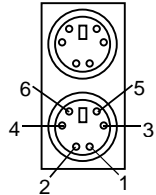


ピン番号	定義
1	+5V
2	信号
3	GND
4	信号
5	+3.3V
6	信号
7	GND
8	+12V
9	信号
10	NC
11	信号
12	信号
13	信号
14	GND

PS/2 キーボード& PS/2 マウスコネクタ



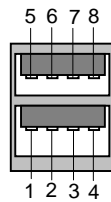
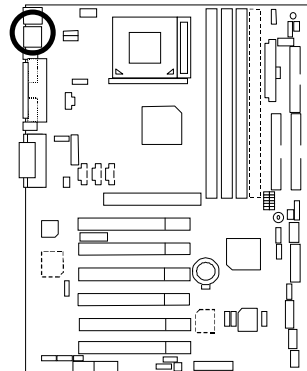
PS/2 マウス



PS/2 キーボード

PS/2 マウス/キーボード	
ピン番号	定義
1	データ
2	NC
3	GND
4	VCC (+5V)
5	クロック
6	NC

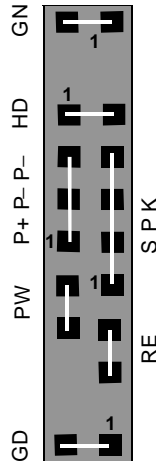
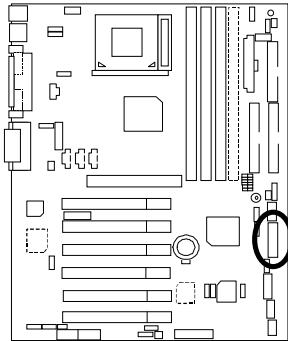
USB コネクタ



ピン番号	定義
1	USB V0
2	USB D0-
3	USB D0+
4	GND
5	USB V1
6	USB D1-
7	USB D1+
8	GND

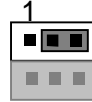
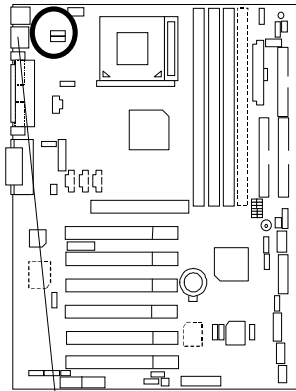
パネルおよびジャンパ定義

J11: 2x11 ピンジャンパ用



GN (緑のスイッチ)	オープン: 標準操作 クローズ: 緑のモードに入る
GD (緑のLED)	ピン1: LED 陽極 (+) ピン2: LED 陰極 (-)
HD (IDE ハードディスクアクティブLED)	ピン1: LED 陽極 (+) ピン2: LED 陰極 (-)
SPK (スピーカーコネクタ)	ピン1: VCC(+) ピン2- ピン3: NC ピン4: データ (-)
RE (スイッチのリセット)	オープン: 標準操作 クローズ: ハードウェアシステムのリセット
P+P-P-(電源LED)	ピン1: LED 陽極 (+) ピン2: LED 陰極 (-) ピン3: LED 陰極 (-)
PW (ソフトによる電源コネクタ)	オープン: 標準操作 クローズ: 電源オン/オフ

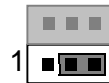
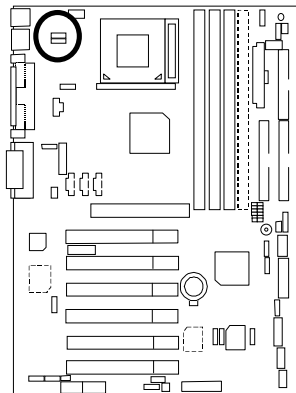
JP1: 背面USB デバイスの呼び起こし選択(USB コネクタ → USB)



ピン番号	定義
1-2 クローズ	背面 USB を有効にするデバイスの呼び起こし
2-3 クローズ	標準(デフォルト)

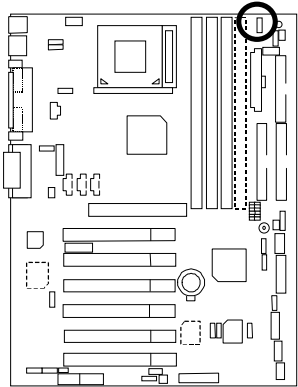
(「S3からUSB KB/マウス呼び起こし」機能を使用したい場合、BIOS設定「S3からUSB KB/マウス呼び起こし」とジャンパ「JP1 & JP4」を有効に設定しなければなりません。)
 *(コンピュータの電源をオンにしメモリがカウントを開始したら直ちにを押します。BIOSのセットアップに入ります。アイテム「電源管理セットアップ」を選択してから、「S3からUSB KB/マウス呼び起こし」を有効を選択します。「ESC」を押してセットアップを保存して終了オプションを選択して、設定を保存することを忘れないでください。)

JP3: PS/2 キーボード電源オン



ピン番号	定義
1-2 クローズ	PS/2 キーボード電源オンを有効にする
2-3 クローズ	標準(デフォルト)

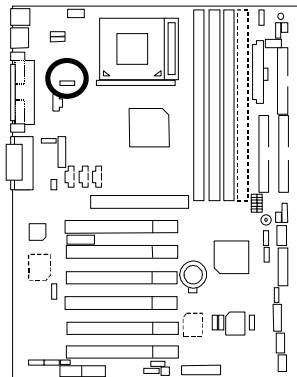
JP4: STR を有効にする



ピン番号	定義
1-2 クローズ	STR を有効にする
2-3 クローズ	STR を無効にする (デフォルト)

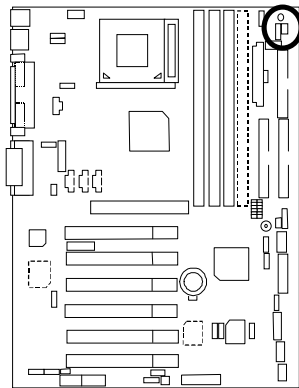
JP5: 過電圧CPU 速度アップ (マジックブースター)

(JP5を“1-2クローズ”に設定すると、CPU 電圧は10%上がります)



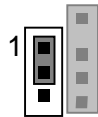
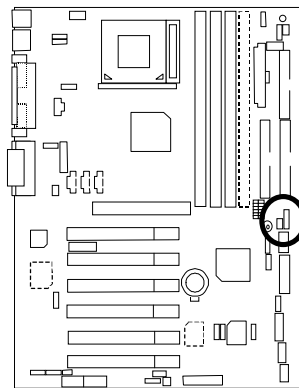
ピン番号	定義
1-2 クローズ	ターボ 過電圧の使用の場合 [電圧が 10%アップ]
2-3 クローズ	標準(デフォルト)

JP6: DIMM 過電圧



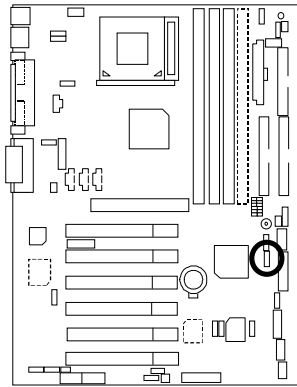
ピン番号	定義
1-2 クローズ	DIMM 過電圧を有効にする
2-3 クローズ	DIMM 過電圧を無効にする(デフォルト)

JP12: 内部ブザーコネクタ (オプション)



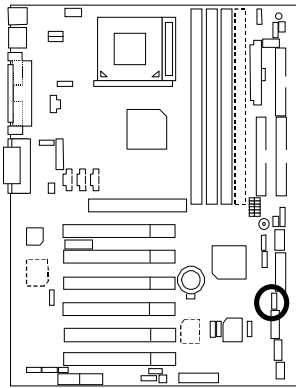
ピン番号	定義
1-2 クローズ	内部ブザーを有効にする(デフォルト)
2-3 クローズ	内部ブザーを無効にする

JP14: タイムアウト再起動機能



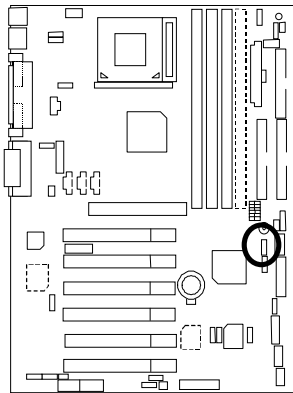
ピン番号	定義
1-2 クローズ	タイムアウト時に再起動しない(デフォルト)
2-3 クローズ	タイムアウト時に再起動する

JP15: セーフモード/復元/標準



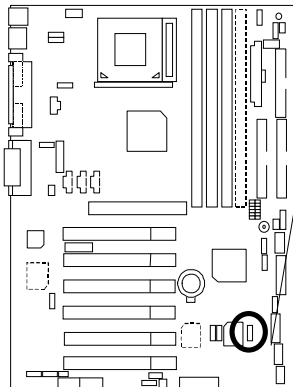
ピン番号	定義
1-2 クローズ	標準(デフォルト)
2-3 クローズ	セーフモード
1-2-3 オープン	復元

JP18: CMOS機能のクリア



ピン番号	定義
1-2 クローズ	CMOS のクリア
2-3 クローズ	標準 (デフォルト)

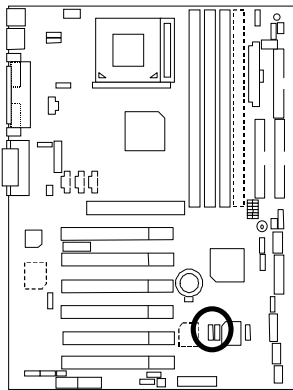
JP19:前面USB デバイス呼び起こし選択 (USB ポート → CN9)



ピン番号	定義
1-2 クローズ	前面 USB デバイス呼び起こしを有効にする
2-3 クローズ	標準(デフォルト)

(“S3からUSB KB/マウス呼び起こし”機能を使用したい場合、BIOS設定“S3からUSB KB/マウス呼び起こし”とジャンパ“JP19&JP4”を有効に設定しなければなりません)。
 *(コンピュータの電源をオンにしメモリがカウントを開始したら直ちにを押します。BIOSのセットアップに入ります。アイテム“電源管理セットアップ”を選択してから、“S3からUSB KB/マウス呼び起こし”を有効を選択します。“ESC”を押し“セットアップを保存して終了”オプションを選択して、設定を保存することを忘れないでください)

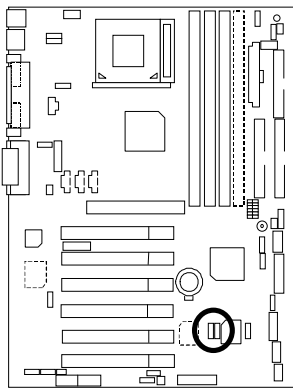
JP20: FWH フラッシュ書き込み保護



ピン番号	定義
1-2 クローズ	書き込み保護
2-3 クローズ	標準(デフォルト)

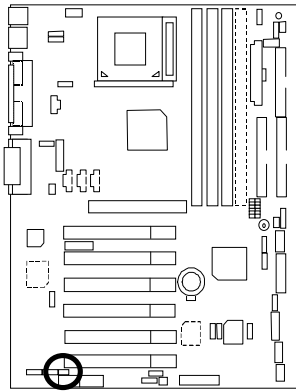
◆新BIOSや新デバイスを更新するとき、ジャンパJP20を“2-3 クローズ”に設定してBIOS 書き込み機能を有効にしてください。

JP21: 上面ブロックのロック



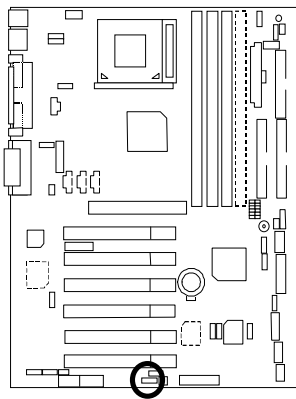
ピン番号	定義
1-2 クローズ	上面ブロックのロック解除(デフォルト)
2-3 クローズ	上面ブロックのロック

JP22: ケースを開く



ピン番号	定義
1	信号
2	GND

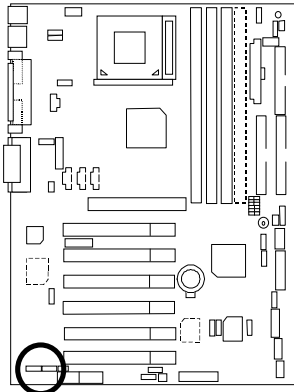
JP23: PCI/AGP 3VAUX



ピン番号	定義
1-2 クローズ	PCI/AGP 3.3Vsb を有効にする(デフォルト)
2-3 クローズ	PCI/AGP 3.3Vsb 無効にする

JP24 & JP31: CNR 選択(オプション)

*JP24 & JP31 がお使いの GA-60XE-1 に対して存在しない場合、1 次 CNR カードが使用されているとき、AC97 CODEC は無効になります。



JP31

1

■

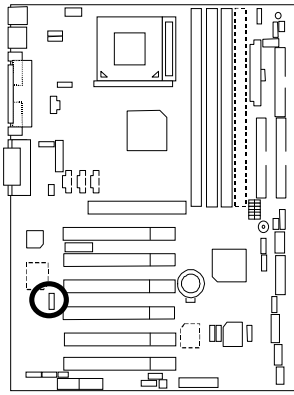
1

■

JP24

ピン番号	定義
1-2 クローズ	CNR 2 次(デフォルト)
2-3 クローズ	CNR1 次 AC'97 を無効にする (オンボード CODEC を無効にする)

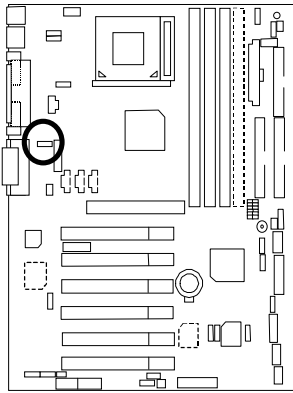
JP26: オンボードサウンド機能の選択(オプション)



1

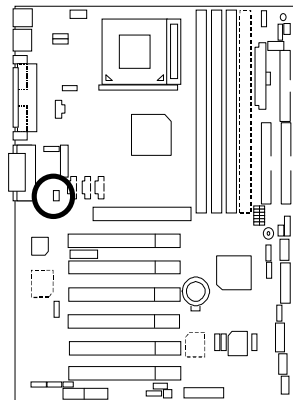
ピン番号	定義
1-2 クローズ	オンボードサウンドを有効にする(デフォルト)
2-3 クローズ	オンボードサウンドを無効にする

JP32: SPDIF 機能の選択(オプション)



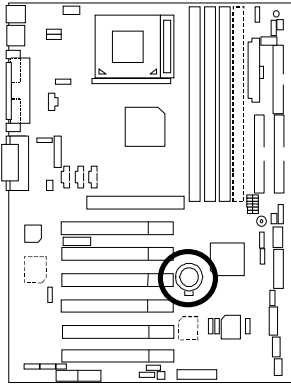
ピン番号	定義
1-2 クローズ	有効(デフォルト)
2-3 クローズ	無効

JP33: 前面MIC 選択(オプション)



ピン番号	定義
クローズ	前面 MIC を無効にする (デフォルト)
オープン	前面 MIC を有効にする

BAT1: バッテリー



注意

- ⇒ バッテリーを交換するとき間違ったバッテリーを入れると爆発する恐れがあります。
- ⇒ メーカーが推奨する型と同じか同等のバッテリーと交換してください。
- ⇒ メーカーの指示に従って使用済みバッテリーを処分してください。

メモリの取り付け

マザーボードには、4つのDIMM(Dual Inline Memory Module)ソケットが搭載されており、6バンクをサポートしています。BIOSはメモリのタイプとサイズを自動的に検出します。メモリモジュールを取り付けるには、DIMMスロットに垂直に押し込みます。DIMM モジュールはノッチが2つしかないため、1方向にしか差し込めません。メモリサイズはソケットによって異なります。

さまざまな組み合わせによるメモリの取り付け表:

場所	168-ピンSDRAM DIMMモジュール	注
DIMM1 (バンク 0,1)	片面	
	両面	
DIMM2 (バンク 2,3)	片面	
	両面	
DIMM3 (バンク 4,5)	片面	DIMM4 には片面しかありません
	両面	DIMM4 は空になっていなければなりません

DIMM4 (バンク 4,5)	片面	DIMM3 は片面に取り付けなければなりません
	両面	DIMM3 は空になっていなければなりません
全システムメモリ(••512MB)		

•16/ 32/ 64/ 128/ 256/ 512 MB SDRAM DIMM モジュールをサポート

●*注:

1. DIMM 4 はオプションです。
2. DIMM4上で片面メモリを使用するとき、DIMM3上で片面メモリを使用しなければなりません。DIMM4上で両面メモリを使用する場合、DIMM3上にメモリをいっさい取り付けないでください。